

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成21年4月2日 (2009.4.2)

【公表番号】特表2008-530108(P2008-530108A)

【公表日】平成20年8月7日 (2008.8.7)

【年通号数】公開・登録公報2008-031

【出願番号】特願2007-555228(P2007-555228)

【国際特許分類】

C 0 7 F 5/02 (2006.01)

A 6 1 K 31/69 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/02 (2006.01)

A 6 1 P 31/18 (2006.01)

A 6 1 P 19/02 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 1/00 (2006.01)

A 6 1 P 11/06 (2006.01)

A 6 1 P 19/10 (2006.01)

A 6 1 P 17/06 (2006.01)

A 6 1 P 37/02 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 F 5/02 C S P F

A 6 1 K 31/69

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 35/02

A 6 1 P 31/18

A 6 1 P 19/02

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 1/00

A 6 1 P 11/06

A 6 1 P 19/10

A 6 1 P 17/06

A 6 1 P 37/02

A 6 1 P 29/00

【手続補正書】

【提出日】平成21年2月10日 (2009.2.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2 3】

癌を有するか又は癌の素因を有する哺乳動物における癌の処置用の薬剤の製造のための
請求項 1 ~ 2 0 のいずれか 1 項に従う化合物の使用。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2 4】

癌が皮膚、前立腺、結腸直腸、膵臓、腎臓、卵巣、乳房、肝臓、舌、肺及び平滑筋組織から選択される請求項 2 3 の使用。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2 5】

癌が白血病、リンパ腫、非ホジキンリンパ腫、骨髄腫及び多発性骨髄腫から選択される請求項 2 3 の使用。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2 6】

癌を有するか又は癌の素因を有する哺乳動物における癌の処置用の薬剤の製造のための、1 種又はそれ以上の抗腫瘍又は抗癌剤及び / 又は放射線治療との組み合わせにおける、請求項 1 ~ 2 0 のいずれか 1 項に従う化合物の使用。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 3 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 3 0】

加速された又は高められたタンパク質分解を有するか又はその素因を有する哺乳動物における加速された又は高められたタンパク質分解の処置用の薬剤の製造のための請求項 1 ~ 2 0 のいずれか 1 項に従う化合物の使用。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 3 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 3 2】

疾患又は障害を有するか又はその素因を有する哺乳動物における、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）感染症、又は移植拒絶、関節炎、感染症、炎症性大腸疾患、喘息、骨粗鬆症、変形性関節症、乾癬、再狭窄及び自己免疫疾患からもたらされる炎症性障害から選択される疾患又は障害の処置用の薬剤の製造のための請求項 1 ~ 2 0 のいずれか 1 項に従う化合物の使用。